

令和6年1月15日

黒島小中学校保護者 様

佐世保市立黒島小中学校  
黒島はまゆう学園  
校長 松尾 信広

### 令和5年度学校評価の結果及び今後の対応について

このことにつきまして、下記のとおりお知らせします。よろしくお願ひします。

#### 記

#### 1 結果 裏面のとおり

#### 2 分析及び今後の対応について

##### (1) 学校の方針及び信頼される学校づくり

○どの項目も3. 6ポイント以上と高い数値となっています。合同運動会や学習発表会（コミセン祭り）が実施でき、児童生徒の様子を見ていただけたことは大変良かったです。また、蕨展望所の植栽活動やシーカヤック体験学習、おくんちへの参加など地域と関わる特色ある教育活動に力を入れることができました。引き続き、学校の教育活動参観や懇談、地域との関わりを確保してまいります。

##### (2) 優しく感性豊かな子ども

○昨年度の課題だった「すすんであいさつする」ことに力を入れ取り組みましたが、平均で0.1ポイント減少しました。しかし、児童生徒総会で自分たちの課題について議論できたことは大きな成果です。友達関係については、昨年同様の数値でした。引き続き、定期的な面談やアンケートを実施し、子どもたちの声に耳を傾け、友達関係を見守ってまいります。

##### (3) 進んで意欲的に学ぶ子ども

○昨年度と比較すると、「授業」「家庭学習の習慣化」について、平均で0.2ポイント減少しています。「授業」については、昨年度の「わかりやすい授業づくり」から「主体的な学びを支援する授業づくり」に内容を変更して評価を行いました。今求められる学力の定着を図るための授業改善に向かっていきます。また、復習より予習の要素を強めた家庭学習、ふるさと黒島学をより探究型、キャリア教育型へブラッシュアップを図ることも継続します。

##### (4) 最後までやり抜く子ども

○困難なことに対してねばり強くやり遂げることにについて児童生徒、職員ともに減少しています。これは、意識の高まりにおける評価の厳格化であると考えられます。これからの社会をたくましく生き抜く力の育成のために、様々な学習活動において、ねばり強く調整し、やり遂げる活動を継続していきます。

##### (5) 全体を通して及び前年度と比較して

○全体として多くの項目で昨年同様の結果となりましたが、職員、児童生徒のポイントが昨年度より多くの項目で減少しています。これは、今年度、課題について積極的に向かい合った結果だと考えています。さらに探究し、課題解決力を高めていきます。また、学校の支持的風土の醸成をこれまで以上に図りつつ、家庭及び地域と共通理解を深めながら子どもたちの思いやりや寛容等の心の育成を図るべく、道徳教育、人権教育の推進に努めてまいります。

以 上